

1. 処分場周辺の地質調査報告および処分場内の調査速報について
(H19.8.10までの結果)
[参考資料(柱状図・コア写真)]

[第6回対策委員会]

平成19年 8月



No. 1-1 0.00~25.00m

ボーリング柱状図

調 査 名 平成18年度第RD-1号産業廃棄物最終処分場調査業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 3-1		調査位置	滋賀県栗東市小野地先				北 緯			
発注機関	滋賀県琵琶湖環境部最終処分場特別対策室			調査期間	平成 18年 12月 1日 ~ 19年 6月 29日			東 経			
調査業者名	応用地質株式会社 関西支社 電話 (06-6885-6357)		主任技師	大洞輝雄		現場代理人	中島俊	コ 鑑 定 者	ア 門原博幸	ボーリング責任者	米倉剛
孔口標高	135.82m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	KR-100型	
総掘進長	31.00m							ハンマー 落下用具	ポンプ		

標尺 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験						原位置試験		採取方法	室内試験 (月日)	掘 進 月 日					
									深 度 (m)	10cmごとの打撃回数			N 値	深 度 (m)	試 験 名 および結果									
										0	10	20				0				10	20	30	40	50
1	134.47	1.35	1.35	砂混じり粘土	黒色、褐色			粘土混じり砂～砂混じり粘土を主体とする。表層～深度0.1mまでは黒色を呈する。0.1～以深は褐色を呈する。0.4m以浅は表土であり、根を混入する。コアの硬さは指圧で変形する程度である。	5/14 0.51											5/10				
2	132.87	1.60	2.95	粘土、砂	褐色			粘土と砂の互層である。1.35m～2.15mは細砂である。1.83mで炭化物の薄層(1cm)を挟在する。2.15m～2.21mは粘土。2.21m～2.5mは極細砂。2.5m～2.6mは粘土。2.6m～2.95mは砂混じり粘土。2.7m付近では、褐色を呈する酸化の縞を形成する(傾斜3度程度)	5/15 2.88												5/10			
3	129.46	0.56	6.36	粘土、砂	褐色			3.05m以浅では、砂混じりである。砂分(極細砂)を混入する粘土である。	5/23 3.82												5/11			
4	128.82	0.64	7.00	粘土、砂	褐色			固結度が高い。炭化物を筋状に混入する。厚さ5～10cmの極細砂と粘土混じり砂の互層である。	5/16 6.96												5/12			
5	128.22	0.60	7.60	粘土、砂	褐色			礫混じり砂である。礫は径10mm程度のチャート円礫を混入する。基質は細砂主体である。9.0～11.5mは青灰色を呈する。含水大。	5/21 8.43													5/14		
6	123.04	5.18	12.78	礫混じり砂	褐色、青灰			礫をほとんど含まない粗砂。チャート重円礫を混入する粗砂。14.7～14.8mは粘土分が多く褐色を呈す。	5/16 18.00													5/16		
7	121.82	1.22	14.00	粗砂	茶灰			14.80～14.85mは青灰色シルト。14.85～14.90mはシルト及びチャート礫が黒褐色を呈し、やや固結する。14.90～15.00mは酸化赤褐色の縞を形成する。15.00m以深は含水の高い細砂。15.00～15.25、15.45～15.70mで特に含水高い。16.55m以浅は黄灰色、以深は茶灰色を呈す。17.6mは酸化褐色化。	5/17 19.15														5/17	
8	121.02	0.80	14.80	礫混じり粗砂	茶灰			17.6～18.0m酸化による褐色斑あり。18.7m以深は砂混じり。19.2～19.8m細砂部をパッチ状に含有する。															5/18	
9	118.22	2.80	17.60	細砂	黄灰、茶灰			19.7～20.0m酸化による褐色縞あり。細砂主体。20.15～20.30mに数枚のシルト層および炭化物層を挟む(概ね水平)。20.7m付近より下位は中砂主体となる。															5/21	
10	116.12	2.10	19.70	礫混じり砂	茶			数mm程度の黒色重円礫を含む。下位層との境界は赤褐～黒褐色を呈し、最大2cmの角礫挟む。22.5～22.7m灰白色を呈す。22.7～23.0m黄灰色を呈し、黒褐色の炭化物斑を含む。23.0m以深は青灰色を呈す。23.4m以深は硬質。25.0～25.4mはやや軟質。															5/22	
11	114.22	1.90	21.60	シルト	茶			27.0～27.6m概ね水平の層理面が認められ、炭化物を挟在する。29.45～29.85mシルト層を挟在し縞模様を呈す。29.85～29.95mやや紫がかかる。29.95～30.15m塊状灰白色にてやや粗粒(細砂程度)。															5/23	
12	113.32	0.90	22.50	細砂、中砂	黄褐			30.15m境界部に炭化物を挟む。固結した粘土。																
13	108.82	4.50	27.00	礫混じり砂	茶																			
14	105.67	3.15	30.15	シルト質粘土	灰白、青																			
15	104.82	0.85	31.00	火山灰	灰																			
16				粘土	青灰色																			

件名	平成18年度第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査業務委託
孔番	No.3-1
深度	0.00m~31.00m
社名	応用地質株式会社



No. 3-1 0.00~31.00m